はなる。

の課

はた敗残部隊であり、わが軍場の 別の別の九十八、別和別の九八八、別和別の別八各成約十箇師を擁し 更に西北側背後には軍事委員 で、数第一線部隊は軍事委員 が、数第一線部隊は軍事委員 はた敗残部隊であり、わが軍

し混亂に拍車をかけてゐる、 なほ情報によれば、荆州、宣 書にあつた王護諸軍は蔣介石 の指令によりわが西進租业の ため第一線に向け西進中とい はれる



下の廿五、九十五、八十二の の軍が湯恩伯曜

各師よりなるできた なはテエッコ機銃一 弾玉〇、手榴弾〜六

敵死體中には四

副縣長懇談會

有監理科長 護田 生三

· 林省拓政科長 北村長 北村長 河省事務官 一郎 はかるためかれて現地側្脚 はかるためかれて現地側្脚 動脈長の薫向と中央側との方 一十八日より四日間に亘り園 は星野長官、御影池内務局長 は星野長官、御影池内務局長 は星野長官、御影池内務局長 に移る豫定であるが、最近地 たが に移る豫定であるが、最近地 たいて裏談會を開

運河を改修 聯ヴォル

河の改修家を練りつ では目下ヴオルガ=疾病間運よれば、ソ聯水運人民委負部

と 員は 世米を 機張して 百乃至 百 と 同時に が みを 造り、また 運河の 南端に 吃水の 深い 創船の 下げる と 同時に が みを 造り、また 運 ア全な 避難所を 建設して 百乃至 百 と 同時に が みを きり、また 運 世来とし、水底 は水深浅く僅か に水深浅く僅か では世来を加速 は世来を加速 い有様である。今回 する筈である

大軍は積極的に邀撃し 関に属つて逆襲し来つ 関に属つて逆襲し来つ

佐も同船で瞬期

立持京工造釀寺五八

松宮駐洪公使 ・ スト設計五日午後八時ローマ ・ スト設計五日午後八時ローマ に到着したが、廿六日午後ナ に到着したが、廿六日午後ナ

のソ聯の必死の努力が譲はれて本年八月から着工される管

あずから四日間開催

眼に合ふレンズは設備を智識の 完備せる専門店へ 



. 2483 電話

為 為 為 所國特許商標登錄 諸書類作成 是刑事訴訟顧問及鑑定貨家貨地管理

日本橋通より四しま新京朝日通三十三番

③ <u>五四</u>四

支照人 医物川 古

一升五十錢

話②

五七

3

新京ミル



協議會

務長會議第三日 白系露人の謝恩

音樂と舞踊の會

とせず、これが選定には一とせず、これが選定には一らしめるべく暫行協議會要により協議會開催の縣へ領に大家体構者一覧表を作成し、分會補者一覧表を作成し、分會を出て右候補者中より代表に一次を開催せざる縣(冀)市本部は必要に應び官民選派會を開催した意の暢達を徹底を開催した意の暢達を徹底 武漢占領地區內

でか、代表の選定、特に日系 でが、代表の選定、特に日系 でが、代表の選定、特に日系 でが、代表の選定、特に日系 でが、代表の選定、特に日系 で、縣(族)市聯合協議會別 電地官 一市十一縣、龍江省 一市十縣、三江省 一市十縣、濱江 一市十縣、三江省 一市十縣、濱江 一市十縣、河北省 一市十縣、 電 一市十縣、龍江省 一 一市十縣、北田十五縣、 高 一市十縣、北田十五縣、 高 一市十縣、北田十五縣、 高 一市十縣、 本 十五縣、 本 十五路、 本 十五路 本 十五

於ては岳 の職果を並

皇軍の奇襲進撃

敵第五戰區後

一戰大統領辭職聲

大型七年七月以来の の勢力場衝策を告げ の勢力場衝策をあぐ の勢力場衝策をあぐ の影力に が表した。 の影力に を表した。 の影力に を表した。 のと見られる 往來

E氏(漢野物産)滿 E氏(官吏)同 E氏(官吏)同

の日

道して午後四時沙洋鎮東方約二十粁王家墻南方の線に進出せり然攻撃を横行し、廿六日午後一時完全に歴門口一帯の高地線を占領、更に敗敵を急然攻撃を横行し、廿六日午後一時完全に歴門口一帯の高地線を占領、更に敗敵を急

我が强硬態度に狼狽

▲川村英男氏(商梁)中央ホテ

人氏(金融合作社)

ある。 満洲圏のこの方面や加浦銀の調査部盤よ大規模に

上部局遅まきな

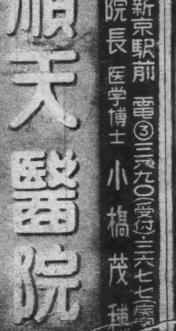
比慮であの

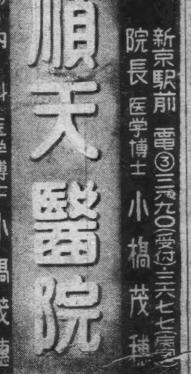
野豚氏(教員)同 大郎氏(教員)同 本テル 受)間 を大郎氏(満洲取引所 展太郎氏(満洲取引所 文官試験の勉強しいよが、 の再現

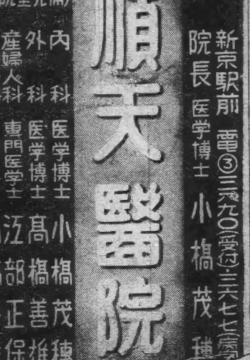
(-)

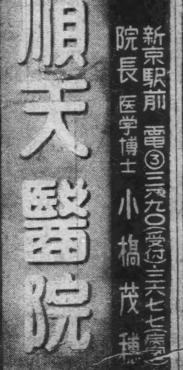
り住し、たど開輸の野目ち掘 んじてはならぬ

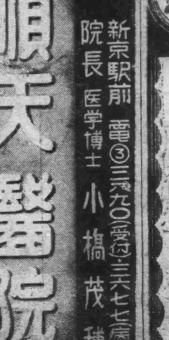
祝里一点 (西本願寺西隣入



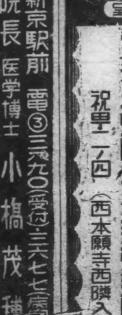


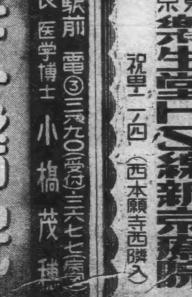


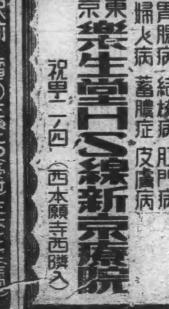


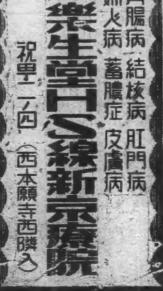




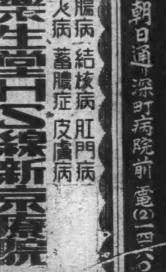


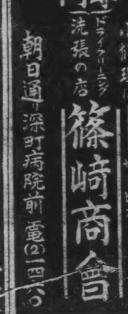


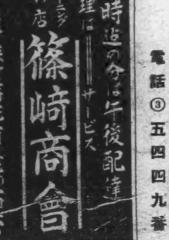












簡も遂れに

本髮值

洋髪は合理的

出張は五圓増し)、一個を持ちまます(富力の組着付

ポに賞金を出すた 指名の最高なる ・ピス

を持つ女給も数名 上いのは一人千圓 一人千圓 一人千圓

姜匪を殲滅

團員

に於て同應の の程左の如り

管管下名譽の表彰 野から首都警察廳 時から首都警察廳 時から首都警察廳

(廿八日)

完備せる眼鏡店

主なる放送

中 羽 知 滿 市 式 病 端 線 病 院 眼 科 醫 院 院 眼 科 醫 院 院 眼 科

ら一千名

保甲法による自衛圏員が満洲 地方社會の安寧保持に貢献し た功は多大なものがあつたが た功は多大なものがあつたが

かねて管下

へて北方に潰走せじめた。 間の後これに徹底的打撃を異 のとこれに徹底的打撃を異

本七・四〇講演「建岡週間に 東京」レオシロタム八・三〇 東京」レオシロタム八・三〇 ラギオ時話職本(東京)本八 四〇連續ラデオ小説(東京)

三月一日の韓國節を期し民族 もつて時局を京服東亜協同體 もつて時局を京服東亜協同體 として全議一斉に實施せしめ として全議一斉に實施せしめ として全議一斉に實施を見

では長春街長春區事務所に於 では長春街長春區事務所に於 では長春街長春區事務所に於 に乗り出した【寫眞は建國週 間のトップを飾る施療班の活

三月一日から各官廳舎社では 関ざれるので之に伴ひ交通舎 対でも同日よりラッシュ・ア り1の運興時間を三十分づゝ 緑り上げるごとになつた、な は春日の訪れと共に日増しに 増加する観光客のために従來 午前一回であつた概光バスを 同様三月一日から午前九時と

連化路―安民廣場―國 院線)白菊町―大同大 の場と、白菊町―大同大

右向)、三腿 電、 電側 五 右向)、三腿 電、 電側 五 治銭 特種結髪 (断髪よ) 「神紙、髪付、ローション 元結、スギタボ、水油)但 し材料中御好みは別途料金 を申受く が、が、かられ、六拾五 後、バック、六合五銭 が、が、た合五銭 が、だった。 が、たった。 が、だった。 が、たった。 が、。 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、

給の風観紊魔に闘する投書が カフエーの観頻氣騒ぎや、女 最近中央連灣保安係宛に市内

授書により

卫

額の金銭を貸

**長興してゐる、某** 米足止策として多

**橋本散** 

規定以外の女人が決害年やよりの紳職女が

X給が多い が多い が多い が多い

二十五分始發 (二

とに決定近く社報をもつて留實店を同會に於て經營するこ主要驛の小手荷物運搬。構成

一一回日

なしたが豫想外のなしたが豫想外のなしたが豫想がに率天

本美附託となり新京(加藤) 本美附託となり新京(加藤)

が を例に裏面の醜悪を完膚なき が を例に裏面の醜悪を完膚なき

# 橋本本部長今夜講演放送

軍警遺家族に朗報

る橋本協和會中 毛屑、綿屑、空織、銀紙、腹品 間、古難さ

を持ち、なほ新京中央 を持ち、なほ新京中央 を持ち、なほ新京中央 を構本協和會中央本部長の 一日午後六時廿五分より「東亜 五分より「東亜 五分より「東亜

水段るむ窓外の淺春をよそに、
「四頭試問に身體檢査に人生第一院梯の難關を必死となつて
「突破しようと可憐な努力を緩

企

始

まる

國軍に損害なし、負傷多数の見込、

飛躍競技新記錄

部長の講演を全浦に放送し本する恒吉協和會中央本部輔導新秩序建設と協和運動」と題

かり京中三百名募集を二恩級一の愛い見麗から試験地獄の名のでは中等學校の學級地加をは

世界新記錄續出 全米室內陸競 學難緩和

被計つたので新京四中等と
関と内中だけに留める様に取
動して、而も入學試験は口答試
があったので新京四中等と
であることになり、せまき門
から締め出される見童は率か
から締め出される見童は率か
ることになり、せまき門
から締め出される見童は率か
ることになり、せまき門
なれでも二十七、八の間目に
ふるひ落されるものは四百四四百四回

【札幌國通】札幌郊外大倉シ 下、高秋宮殿下御来道記念ス 下、高秋宮殿下御来道記念ス 七十九米の大記録を借した、 日本公認記錄龍田峻次選手は 七十二米を遙かに凌駕する最 七十二米を遙かに凌駕する最 七十二米を遙かに凌駕する最 七十二米の大記録を借した、 七十二米を遙かに凌駕する最 七十二米を遙かに凌駕する最

小嶋の様な小廛生の胸を痛め 二十七日から二月間全端一郷 に行はれるが、新京の四中蛇 に行はれるが、新京の四中蛇

を立案、その管現を見ずして である である である

昭和十四年度補鐵北滿雲業開昭和十四年度補鐵北滿雲業開

平島支社長親祭

**液線** 込報係西尾氏轉出

三國 七五三美 村衛付、三國 着圓右)、

理髪店主渡邊々カさんから二 ・ 新京に向つた形跡があるので 新京に向つた形跡があるので 女美容師何處?

中央通署宛に捜査願が は二十六日の日曜日午後本計 は二十六日の日曜日午後本計 に貯金玉一個を提出これを園 に貯金玉一個を提出これを園 た、貯金箱の中には零細なな た、貯金箱の中には零細なな たもの、 したもの、

葬儀五日廠葬で故河鳥氏夫妻の

**女子接客係** 

め、賞金欲しさに女給は必死 となつて賣上、指名の多くな る様恰も乞食のやうな賣上高 増しサービスをする者があり また指名を得めために客と同 職方課勤務に轉出、中支に活 調査課勤務に轉出、中支に活 が成分に表現の単立に活 齋藤前大使逝去

月五日午後二時から職罪をも つて夫妻の滞儀を執行することに決定した、なほ千早務院 で、一子さん(十)大男敏郎さんへ 大タン、三男郁生ちやん(三ッ)の四人はお母さんの亡くなつ たことも知らず不安を毎日を たってるるが、幸ひ傳染せず 



滿洲國痛惜







全商品 新京銀座 に

三月二日まで五日間 陳列棚、 一月二十六日より 陳列ケース、 半額大賣出 レジスター大康賣 話 三〇五





学展の注文受及版製に従事 洋裁學校出 及多少洋裝に經験のある女子 洋服の注文受及版製に従事 洋服の注文受及版製に従事 貸家を求む 間數一二間以上の社宅向家屋、 設備一風呂、煖房附 ・戸數一三十戸 清鐵社員消費知 八組 二合

東京下谷質西町小泉校正

五名 及徒弟募集 年齢十六歳より二十歳迄

旭自動車サービス部路、「那以上一階

希望者は履歴書持念。 . . . 二三一名名名 話(3) ○三機 た

正確なる眼鏡は弊店より E

演主 雄秀 鄉本●子禮 見北●二讓田江海

日封切

西東

松竹リアリズム映畵週間

てつもを熱情な常異が吉研原説新の船大を『人の焔』の郎一陸木八

座春長が紫ルマカワシウ

ーリイ・ターパーの伊太 一リイ・ターパーの伊太 に多大の苦心が拂ば が歐洲から支那に及ぶの が歐洲から支那に及ぶの が歐洲から支那に及ぶの

演劇班初公演 関かる

入場人員と

音 を打込みて

りよ日八十. (間日四)

田新 みほな川江 岡本友山川上香谷 龍田和 榮新日 三三歌廣絹五八出 

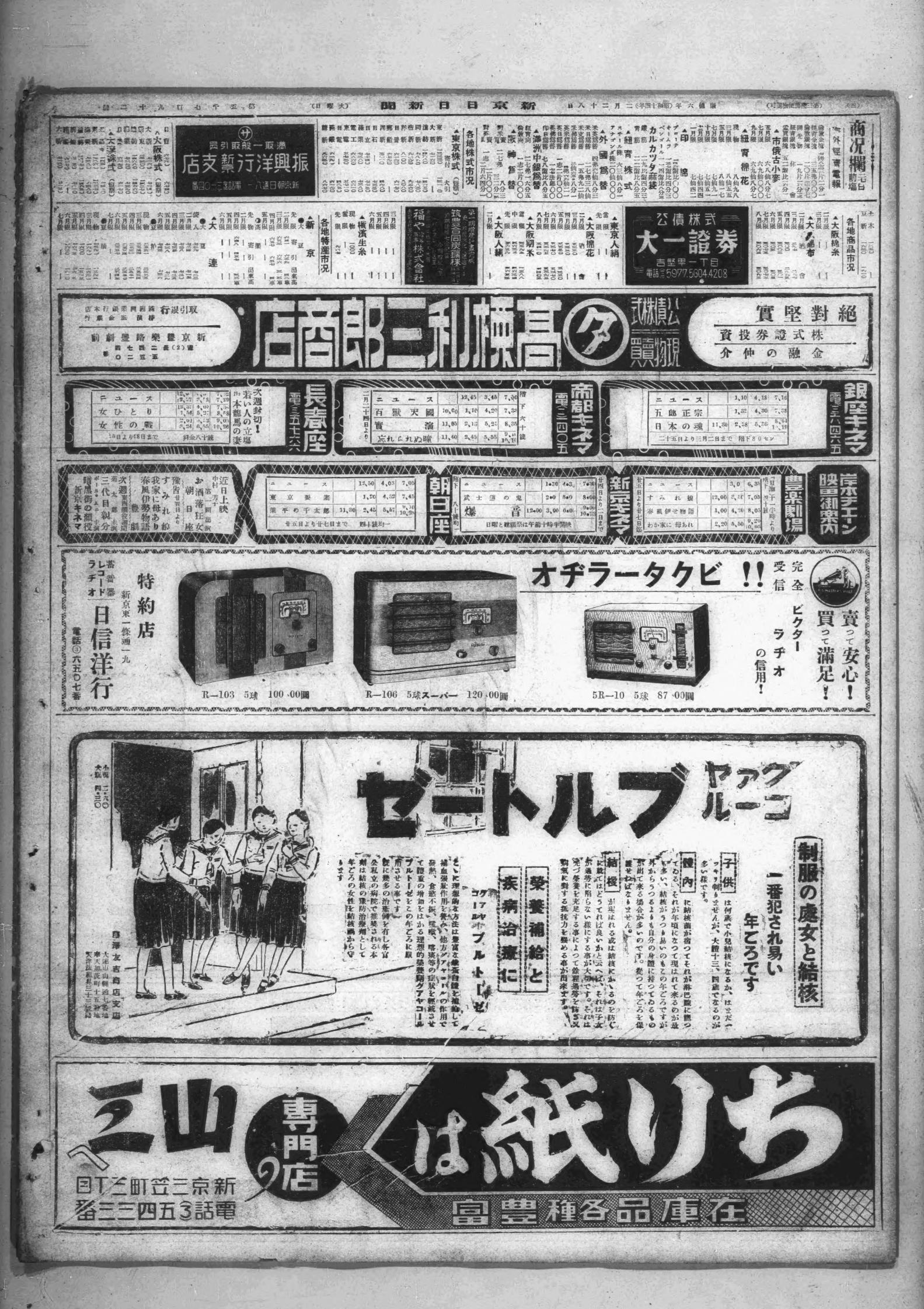
組番華豪力强の慢自與新 演主子みく山眞

胡多 當擔作製 其井藤 音錄地現 文 江 曲 作 計松 說 解

PEKING の寶庫北京の扉が

男秀本宗 監 晁 見伏 本

たれる戻取に兹が熱情的家作ご氣園雰的術藝たるてれば失くし久に畵映逸獨 買すたまで見いまる場 談軍從烈鮮る贈が峰高最の界術話だし驅馳を里萬線戰



滿洪防共協定參

本 間の後世六日午後一時選に大 ・ 間の後世六日午後一時選に大 ・ 間の後世六日午後一時選に大

や更に息をも

に在る、一方廿六日餘家店(随

御報為上

▲中原民蔵氏(同)同

本松田卓三氏(商菜)同

本格田東三氏(商本建物)同

本経・アガニ郎氏(會社員)同

本松下芳三郎氏(會社員)同

本松下芳三郎氏(會社員)同

廿八册揃

日午後三時選に餘家店北方の様ので抵抗する敵を撃破し同

東き敗敵を西方に追撃中の低空を縦横に亂撃しつ、痛 で、一方廿六日餘家店(簡無ひ、更に軍事施設を木葉微 で、一方廿六日餘家店(簡無ひ、更に軍事施設を木葉微 で、一方廿六日餘家店(簡無ひ、更に軍事施設を木葉微 では土氣全く沮喪し我荒鷲軍 が、現に軍事施設を木葉微 の楽を設見するやわれ先にと の楽を設見するやわれ先にと の楽を設見するやわれ先にと

〇〇部騒に一帶の液状高地に

原署名國より夫々涌

を促進し、日滿支航空關係の 聯繫協力を一層緊密ならしむ ると共に、列強航空路の對外 進出に對應し、わが調航空職 めには官民相協力して一大國

にも良民を廖

惡虐極る抗日

先を争つて續々漢水を渡河西 機し主力は沿岸の民船を微曼 西方地區の敵軍は一部兵力を

は、れた漢水東岸地區の敵主陣地 標を突破したかが〇〇部殿は 今や漠水河岸敷キョの地點に 進出したが右陣地においてわ れに抵抗した敵兵力は約五千 で遺棄死體により最に武漢陷 落に際し離散した于學忠軍の 一部を混じた四川軍であるこ

が、世紀

サ七 人の生首三箇〈女二名、男一 が当 路角の甲新紡績の垣根に支那 は 即ち滬西地區プレナン路華論

の回答要旨

一、共同租界において輸送せ 一、共同租界において輸送せ をの如きものである

计鎭に肉薄

州百

六一通條一東京新

人事 往來

デルへ 石田等融氏(官史) 蹇素ホテルへ デルへ

方西線漢京 況戦の區地

南郊回調し来つたので現地陸 海外三當局は同日午後四時よ 中央の方針を體して廿八日中 中央の方針を體して廿八日中

足なる諸鮎につきさらに折衝を重ねることに意見の一致を見、有出陸海外の三省關係官會議を開き工部局の回答を慎重檢討した結果、

被 電話 新 介勇忠 〇五社

翼中包圍掃蕩戰 陸鷲の

北支討

趣旨を三浦總領事に回訓

部隊に引渡さる部隊に引渡さる 

**設國通**)北支討

佛印當局ご打合せ

上昆明經由重慶 廿八日午後八

歌像の戦果○○

で常局と意見交換 日袋関連」新任 を攻撃、南方に潰走せしめた 南方十二キロ掃箭機附近で獨 南方十二キロ掃箭機附近で獨

陸鷲隊出動

本 10○基地十七日 10○基地十七日

低空爆擊實行

一、スペイン人民戦線側に對 し一律に報復行為に出ることは避けるが、交戦線復者 は獅子處罰する ー、スペインの獨立ならびに 主権を維持する 電氣協會總會

関政府は酸々廿七日午後フランコ政府を入べインの正常政府として承認することになった、廿六日バリ・ソアール紙た、廿六日バリ・ソアール紙が、その際更にフランコ解した対英メッセーザ内容を説明するが、その際更にフランコ解した対策メッセーザ内容を説明するが、その際更にフランコ解した対策を受けるが、その際更にフランコ解した対策を表 を承認

每月廿八日

る三部隊の總職果は次

英、佛兩國政府 愈よフ政権 第二十五回

銘

廿八日は白蘭の謝恩奉仕デーで御座 酒のうまい季節こなりました、 います今すぐに御下命下さい

配達料 一本年 五 別

白巓釀造元

電話②一七〇七

大經路市場內 大 大經路八三ノ

配

B

吉野町銀座新道角 オカタ 行

所

古野

P

0

· 計畫 注 空

佐管であるが、 を管であるが、

トに於ても同間

浸事業の興隆

テ

口

0

氏

0

密葬

たか

た日本航空 大日本航空

さる酷あり、現地に於て再檢光立ち工部局回答に關して中先立ち工部局回答に關して中

たも良民を修

惡虐極る抗日

計上 人の生首三箇(女二名、男一 がき 路角の甲新紡績の垣根に支那 の生首三箇(女二名、男一

等は良民の生首を曝してゐるが、住民の話に

世条で彼 出によれば となれば

折線なことになるか

から注意せ

**高翼の빠況は著しく進展し助がり、わが進撃部隊勇士の士がら、わが進撃部隊勇士の士** 

変し來つた回答に對する我方長アランクリン氏より正式手帳項に對し計五日市參事會議 修項に對しまり正式手

事宛回訓し來つたので現地陸 かり約二時間に亘り協議の結果 中央の方針を體して廿八日中中央の方針を體して廿八日中

工部局當局 の回答要旨

一、共同租界において輸受をの知さものである左の如きものである

令の要項は

| 上海十七日

ら不識足なる諸點につきさらに折慮を重ねることに意見の一致を見、

める

陸海外二省會議決定

翼中包圍掃蕩戰

輝く

のため廿五日サイゴン著、陸 生立つて佛印當局と意見交換 生立つて佛印當局と意見交換

協中の武信部縣は廿四日同地 南方十二キロ排箭債附近で獨 立第一即第三營の敵凡そ五百 シ攻撃、南方に潰走せしめた 敵の死體七十六

總戰果 陸鷲の

七日辞殿通

今次

ハイに立ち 路各地を記

寄り数ロ間滯在、總

上昆明經由前慶

新大使はギリシャ公使よりが大使はギリシャ公使よりが開されたもので社任に先被関係の極めてデリケートな徳印各地をである。

西大條部騒は廿五日正午郎

に潰走せしめた、敵死體州 防水(糞中)警備の宮崎部 防での敵三百と変襲北方 時間地北 防での敵三百と変襲北方

北部腺の猛進撃に相呼應し我が陸の荒駕群は世七日朝來密 類を飾いて大撃出動し、漢水 類との経漢寺、沙洋鎮を奇襲

東方の剛縣で重機を有する

リン工部局が事會議長宛

### H [頁二十刊夕朝紙本] 被 電行 新 刷邮行

には不満の點多し

0三메

五五五 给钱钱四 介重忠〇五社

點から特を

部隊の戦果 及温、海水 ・二十九ヶ所△ ・三原爆撃地・二十九ヶ所△ ・一十九ヶ所△ ・一十九ヶ所△ ・一十九ヶ所△ ・一十九ヶ所△ ・一十九ヶ所△

る三部隊の徳磯果は大

**昼包圍掃遠戦中京漢線側より** 

新書 闘を先頭に漢水河畔の敬 要衝日日銅、沙洋鎖の線に向 中には漢水東岸に達し岡河東 岸地區の完全制脈に成功の見 込みである

第二十五回

英、佛兩國政府 愈よフ政権

奉謝

新任

駐支佛大使

を承認

佛印當局ご打合せ

ンコ政府をスペインの正常政 国政府は態々廿七日午後フラ

每月廿八日

陸鷺隊出

低空爆擊續行

府として承認することになつ た、十六日バリ・ソアール紙 ロンドン特電によればチェン バレン英首相は廿八日の下院 でフランコ政府承認を離期す るが、その際更にフランコ將 軍がホジソン英國代表に手交 した對英メッセーデ内容を設 英メッセーデ内容として傳へ表するだらうといはれる、對

られるところ次の通り し一律に報復行為に出ることは避けるが、交戦繼續者 は断乎處罰する 一、スペインの獨立ならびに 主権を維持する

極めた を変えく が地上部 を変え、巨弾の雨を降ら が地上部 を変え、巨弾の雨を降ら を連維 を変え、巨弾の雨を降ら を変え、巨弾の雨を降ら を変え、巨弾の雨を降ら を変素を を変え、 を変え、

電氣協會總會

**験は敗走部壁で混亂を極めつ** 又山田中尉の率ゐる他の一編

本テルに第二回定時標會を付護 は、康德五年度決算案を付護 は、康徳五年度決算案を付護 で決、高嶺、雑被の二氏が理 事に就任した

肉薄

河百

書堂松

高

價

店

酒銘

白巓釀造元

電話②一七〇七

(二四八三) 億 六一通條一東京新

買

古

瓶 別

配達料 一本年 五

酒

廿八日は白蘭の謝恩奉仕デーで御座 います今すぐに御下命下さい 酒のうまい季節こなりました。 本月

### **歐に引渡さる は何人たるを問はず當該** 部**隊に對し抵抗したるも** よりの急進に 職に多くの困難を伴つたこと 動に多くの困難を伴つたこと 北支討伐狀況

方西線漢京 況戦の區地

線に肉迫した、この南北相呼の敵要觸沙洋鎭東方十數粁の 隊は廿七日早くも漢水河あり、また左翼進撃の○ 洋鎭に 破四川軍 を開始したといは れた漢水東岸地區の敵主陣地 総世したが右陣地においてわ 進出したが右陣地においてわ

先を争つて彼々漢水を渡河西 残し主力は沿岸の民船を後設 し主力は沿岸の民船を後設 關 

の本 間山一帶の高地を占領型人債 をも 間の後十六日午後一時選に大 をも 間の後十六日午後一時選に大 をも 間の後十六日午後一時選に大 をも 間の後十六日午後一時選に大 高地を占領 れに抵抗した戦兵力は約五千 で遺棄死體により書に武漢陷 落に際し離散した于単忠軍の 一部を混じた四川軍であるこ とが判明した

御報金上

廿八册揃

って防備工作に狂奔しつ 一で後四時演水河岸を去 一で後四時演水河岸を去 一で後四時演水河岸を去 一で後四時演水河岸を去 一で後四時演水河岸を去 てるや更に息をも に在る、一方廿六日餘家店(院)れた雁門口の隘路 」 ある沙洋鱝は既に目睫の間 據つで抵抗す

○○部騒は一帶の液状高地に 取引續き敗敵を西方に追撃中敵の中心陣地一八五高地を奪 日午後三時途に餘家店北方の據つで抵抗する敵を撃破し同

無い、更に軍事施設を木葉微 な、更に軍事施設を木葉微 を、要は士氣全く沮喪し我荒鴨軍 では士氣全く沮喪し我荒鴨軍 の姿を發見するやわれ先にと があるかに飛び込み途に一發 がした、同地一帶の敵

配

大經路市場內 大

大經路八三ノー

官半民の大日本航空株式會社たので近く間譲を經て議會したので近く間譲を經て議會 を促進し、日滿支航空関係の ると共に、列張航空路の對外 進出に對應し、わが関航空路 の對外 進出に對應し、わが関航空路 の動外 が同様で発展を関係の からには官民相協力して一大関 光般來航空局に於ては半 

節を減ず

ういふ事質がある

給

B

オカタウ

9

行

たならば傳播率を少

が今少しく

歌總理は廿四日ハンガット 阿協定に加盟したが、 対

滿洲

配補日本大使よりのも

報された管であるが、 よりペンガリー政府に が開め協定参加の旨正

共陳容は茲に完全一

加を正式に通報し來つた、

滿洪防共協定參

原署名國より夫々

が断じて自分の犬でないとる 変想だから飯は食はぜてゐ。 ではないさる友人。

第一、目的 航空事業の發展第一、目的 航空事業の報答及び他の航空審議会事業の報答及び他の航空輸送事業の報答との事等もおよる。

なによる大日本航空株式會計が同 する大日本航空株式會計が同

ひ張つて係前を困ら

所

吉野町銀座新道角

店

吉 野

店

を帯びてゐるが、十七に游撃除のテロ行爲はに対撃除のテロ行爲は

近住民は極度に酸慄してゐる が吊り下げられてあり、 が角の甲新紡績の垣根に支那 路角の甲新紡績の垣根に支那

北海徑の住民は極度にてゐるが、住民の話にこれは遊撃線一味の此等は良民の生育を曝

民彼ばし

たことが判明した

から注意せ

忠虐極る抗日

工部局當局

一下 共同租界において、共同租界において、共同租界においての如きものである。 一、 工部局 監察会 係会 をの如きものである。

意係令の要項は

0

回答要旨

東宛回訓し来つたので現地陸 東宛回訓し来つたので現地陸 東宛回訓し来つたので現地陸 中央の方針を體して廿八日中 に通告を設することゝなつた

員は人を得次第直ちに補充 、共同租界内要所における 、共同租界内要所における 、共同租界内要所における 一層聯行する と共に現在の情況を 一層聯行する

## 介勇忠 〇五社

には不満の點多

輝く

(北京市七日砂関通) 今末の 電須藤、永持、鈴木各部隊の 電須藤、永持、鈴木各部隊の 電須藤、永持、鈴木各部隊の 地田に亘る偵察、爆撃、指示、 神器等は地上部隊の輝かしい 野果に貢献するところ多大な ものがあつたが、これは今末 の事變が敵の遊撃戦により索

部隊に引渡さる

七日酸調通

北支討

一、スペイン人民戦線側に對し、スペイン人民戦線側に對しているが、交戦機費者は断乎處罰する。 スペインの獨立ならびに主権を維持する

、スペイン人民戦楽

**満足なる諸點につきさらに折衝を重ねることに意見の一致を見、有田外相の承認を求めた上直ちに右の趣旨を三浦總領事に回溯し、り陸海外の三省關係官會議を閉き工部局の回答を懷重檢討した結果、わが要求各條項についてはなほ不滿足なる點多々あるをもつて廿六日右に關する出先各機關としての對策を協議するとゝもに今後の措置につき本省に請訓し來つた、よつて外務省では廿七日午前** 

二省會議決

リン工部局参事會議長宛

わが要求につき再通牒を手交せ

しめることに決定し

、テロー、、テロー、、テロー、 では 情報を握り でき情報を関いる 音は相 役立つ情報を興へるでは 相 では かって お可を は がって 許可な き ご 器又は テロリスト活動に 従事 フは テロリスト活動に 従事 フは テロリスト活動に 従事 フェースト活動に 従事 おり 放逐せら

總戰果 陸鷲の

八使コスム氏は赴任に

寄り敷口間滯在、總 カ日サイゴン着、陸 の上昆明經由重慶

いれたもので赴任に先の中書局と懇談を遂げる中書局と懇談を遂げる日のでかりない。

北支討伐狀況

東方の哪縣で重機を有する敵 **挺を無條件にて瞬間せしめ武** 

**教任駐支佛大使** 

部隊の戦果 双强、衡水 双强、衡水 双强、衡水

る三部隊の徳職果は大

**郊五六四、軍表一二〇○〉** 四、小銃弾四、八〇○、手榴 四、小銃型四、八〇○、手榴 四、小銃型四、八〇○、手榴 四、小銃型四、八〇○、手榴 四、小銃型四、八〇○)

O部除の計日まで 湯酸中原漢線側より

日口、沙洋を伽壓

第二十五回

佛兩國政府

愈よフ政権

を承認

佛印當局ご打合せ

はパッサ六日 は成所は愈々サ七日午後フラ での正常政 での正常政

軍がホジソン英國代表に手がボレン英首相は廿八日の下院が、その際更にフランコ略所承認を離明するが、その際更にフランコ略

每月廿八日

酒

が陸の荒窩群は世七日朝來雷 震を飾いて大擧出助し、漢水 河岸の羅漢寺、沙洋鎭を奇襲

北部隊の猛進撃に相呼應し我

低空爆擊 積行

陸鷲隊出動

います今すぐに御下命下さい 廿八日は白蘭の謝恩奉仕デーで御座 酒のうまい季節こなりました、 本月

# よりの急進に

方西線漢京 況戦の區地

除は敗走部隊で混亂を極めつ。

電氣協會總會

八めによ

別

配達料 一本年 五

事往來

酒銘

白蘭釀造元

電話②一七〇七

部隊は廿七日早くも漢水河岸であり、また左翼進撃の〇〇 線に肉迫した、この南北相呼の敵要衝沙洋纖東方十数粁の の四川軍

の連山を結んで構築さ 大鵬山、洋虎樹、 大鵬山、洋虎樹、 を新點として青龍山、 大鵬山、洋虎樹、 番

先を争つて轍々湊水を渡河西西方地區の敵軍は一部兵力を強し主力は沿岸の民船を徴破してのわが急進撃に京漢線

れた漢水東岸地區の敵主陣地 標を突破したわが〇〇部験は 今や淡水河岸数キョの地島に 進出したが右陣地においてわ 北に抵抗した敵兵力は約五千 で造栗死體により書に武漢陷 落に際し離散した于學忠軍の とが判明した

千わには地 别 高 買 入 價

廿八册揃 百 堂松

御報念上 古 (二四八三) 體 六一通條一東京新

後四時洟水河岸を去 ○○部除は一帶の波状高地に功するや更に息をも に在る、一方廿六日餘家店(防功するや更に息をも に在る、一方廿六日餘家店(防阻れた雁門口の隘路 」 ふある沙洋鯛は既に目睫の間 取引載き敗敵を西方に追撃中 敵の中心陣地一人五高地を奪 を関いて抵抗する敵を撃破し同 無ひ、更に軍事施設を木装微 無ひ、更に軍事施設を木装微 底に痛爆した、同地一帶の敵 底に痛爆した、同地一帶の敵 下は士氣全く沮喪し我荒鷲軍 の姿を發見するやわれ先にと が込み遂に一般 

「隣口廿七日酸國通」 廿五日 「大東岸地區の敵機點聖人樹 を奪取せるわが○○部騒の精 鋭は引續さその特側の峻嶺大 間の後廿六日午後一時遠に大 間の後廿六日午後一時遠に大

漢水河畔における最大

5防備工作に狂奔しつ かめが必然

滿洪防共協定參 原署名國より夫々 .

加を正式に通報し來つた、きハンガリー國の防共協定 りハンガリー政府に

が断じて自分の大でないと が断じて自分の大でないさる友人 が断じて自分の大でないと

日本航空 式會社法 報された筈であるが、 よ近く議會へ 際容は姓に完全一

(-)

テ

犠牲陳氏

の密葬

十九

目 +5

省では大陸

第一、目的 航空事業の發展 第一、目的 航空事業の發展 第一、目的 航空事業の發展 業の經營及び他の航空輸設事 業の經營及び他の航空輸設事 業の經營及び他の航空輸設事 業の經營及び他の航空輸設事 業の經營及び他の航空輸設事

を促進し、日滿支航空関係の 静繁協力を一層緊密ならしむ ると共に、列強航空路の對外 進出に對應し、わが関航空路の對外 進出に對應し、わが関航空路の對外 進出に對應し、わが関航空路の 全事社を設立するの要ありと 大の立案を急いであたが、こ をの主案を急いであたが、こ をので近く閣議を継て議會 したので近く閣議を継て議會 したので近く閣議を都て議會 したので近く閣議を都て議會 したので近く閣議を都で議會

所 給 配 大經路八三ノー 朝 B

響を滅ず

たならば傳播率を少く

大經路市場內 吉野町銀座新道角 吉 野 町

行 店 店

防空施設に狂奔し

民家强制取壞

重慶民衆怨嗟の聲を放

## 慶來電によれば廿五日の軍事 に二百米內外の間隔で防火地 慶來電によれば廿五日の軍事 に二百米內外の間隔で防火地 慶來電によれば廿五日の軍事 に二百米內外の間隔で防火地 の暴撃に家を奪はれ怨盛の とが、取壊された戸敷は三萬 ることがすくなかつたが、重 ることを防止するため、全市 の最少に置ってある、民家は のと により質に重慶全戸敷の四 とが、取壊された戸敷は三萬 のと により変になり、その一つと により質に重慶全戸敷の四 のと により変に水の海とな のの一に當つてゐる、民家は のの一に當つてゐる、民家は のの一に當つてゐる、民家は のの一に當つてゐる、民家は のの一に當つてゐる、民家は のの一に當つてゐる、民家は のの一に當つてゐる、民家は のの一に當つてゐる、民家は

された場合を強期しる。 「大学学院」を表示している。 「大学学院」を表示している。 「大学学院」を表示している。 「大学学院」を表示している。 「大学学院」を表示している。 「大学学院」を表示したいである。 「大学学院」を表示した。 「大学学院」を表示した。 「大学学院」を表示した。 「大学学院」を表示した。 「大学学院」を表示した。 「大学学院」となる。 「大学学院」となる。 「大学学院」となる。 「大学学院」となる。 「大学学院」となって、 「大学学院、 「大学学院」となって、 「大学学院、 「大学

王明燿氏赴年西國公使館

任王 排

終った。

咨詢州國公使館主事として社 設の運びになったスペイン駐

流暢な日本語で

事館閉館式

國攝政

一政復古の前提=

か就任か

雷面の敵就は左の 地が急追下に僅か が無びわれに動態力 と共に逐次抗戦力 と共に逐次抗戦力 と共に逐次抗戦力

- 同有力者も左の如く てスペイン王政復古

電によれば、落政府は西南經|岡るため來る三月中旬重慶に|を開催するに決定した【香港廿六日撥國通】重慶來|濟閉鏡諸計畫の積極的成功を|關係者を召集、西南經濟會議 ア 及治激かてトラ情壁し府ア親いに内れ ツ票まるン領マ では的皇、決リン勢にかにルしがつ頑まが望でカコいラ サ さ勝強こ定ツコは断し報バ駐、き終いあす獨1 政てン 

西南經濟會議

三月中

旬重慶で開催

告別式廿八日 【ワシントン廿六日愛園通】

まず眠らずで押通す筈である眠をとるほか断じて食はず飲眠をとるほか断じて食はず飲

母乳の悩み

のフランス新聞記者圏に對し 大國を拒否し、また廿六日に はタン紙ローマ特派員ボール ジャンテイゾンギ及び二名の スイス新聞記者に對し立退命 令を發したが、權威ある筋の 間特派員通信員等に報復的處 出日にはこれ等イタリー記者 中の一名に立退命令が設せら れる模様である

國外退去を命ぜらる

特派員

・政府當局はさきに来る廿八 ・ 政府當局はさきに来る廿八

河野省二

六日穀属通

入院在於時港 鄉間之助

英民衆の血の叫びを坐覗する 学氏が「和平敦國」といふ四 九三二年以来北京に陸捷しても政権が樹立され、又去る一として親日防共倒蔣を指標す

政治的には協同防共闘係を強那との國交の調整においては思はない、即ち日本は更生変

國務院の

三月一日の建岡節記念日に常

明した如く「崇高なる日満議 明した如く「崇高なる日満議 明した如く「崇高なる日満議 が言いなく、正式に欧亚の防 世籍では、素より満 でで、表より満 で、表した、素より満

歐亞防共强化と

である、日本が直面する

國際政局の推移こ

の支那建設は終局的には財政と対象を登べ張化するに役立つ、次意を登べ張化するに役立つは外の何物でもない、亦第三

いるない、 満の男者 い。 流列間に が動の反

無塞に出馬することになつた の和平確立の一環としての檜 の和平確立の一環としての檜 又第三次聯合委員會

行するが式火第は左の通り 動院構営に於て記念式典を擧

香りど味の ・ 雷 報 報 様 北路東會社 仁徳製飴洋行 人船町三丁目一東二條通り

告

3

五〇

0





の様な名犬が數頭、

ード、ドー 中に収分け 中に収分け

称へをしてゐて忠實 大の男共も恐れ、御用聞きは衣 吹え、よく をなして韓昭の過りを遠総にして歩く有標に、又口さがなきやから共、今ぢや犬公方とは云はず犬苦勢だと云つてぼせいたり、醉余の果て爾宅の銀れた亭主共「あの犬があて家に入れなんだよ」と辮解したりして韓大臣の功徳を稱べ

本菜、一昨年十一月 一時鑑氏は出和十年大連商 で、一時年十一月 務課に勤務してゐ 四日出帆の鹿島丸で出襲します、閉館は四月下旬頃でせら、抱負などお話するほどのことはありませんが今度の機會に一生懸命勉强し勝計観の一員として本分を満計観の一員として本分をであが一杯です。

見られる、尤もリバス氏は出 強にあたり大統領に代り「大 統領辞職等は宋だ問題でない 」と言を濁したが、元駐佛ス ベイン大使アルボルノス氏は 承認とゝもにアサニア大統領 は辞職を設表するだららと語

ル氏パリに歸還 佛國特便ペラー 廿六日登國通」っ

訪問したベラール上院議員 ール特使は廿七日ダラヂエ首廿六日パリに歸還した、ベラ 、スペイン協定の内容にポンネ外相と會見、フラ 週間にわた、断食祈願を決 っといふ悲壯な祈願行事がして赤心を補天下に披瀝し 時局突破の赤誠を籠めて 眠武運長久祈願

定である する取極めを確認、フランコ善瞬間係その他國交確立に開 厳まんじう

ガラザーミシン代理 店子・サーミシン製造株式會社

國産ミシ

0

レープに向つた、アサニア大ス山中のコロンジュ・スー・サニア氏を同伴パリ出酸アルブ

**適生活を行ふのではないかと** 統領は蘇戦とよるに同地に隠

正連 税町太子堂前

リ聯兵不法越境

一名捕虜、

一名射殺す

では政府要略者、上下兩職員、 外交圏などワシントン各界を が変圏などワシントン各界を 関鍵する多数費願が列席する 

(京都國通) 杭州總敵前上陸

杭州灣の勇士



美味德用品 穏積重選博士を推すことに正 七日午前教授會を開いた結果 七日午前教授會を開いた結果 (東京関通) 田中法學部長 東大法學部長に 穗積重遠氏決定 屋問酒 行洋村西

半鳥人の斷食不

)國産界の川 フラ ーミシ

△御試用歡迎 (職

スグレタ性能は既に御需要者各位より賞讃の

午後七

來る三月一日より

營業時間變更

午前九時三十分

忠忠 魂盛 碑塔

● 大馬路を一直線に東陽に 大馬路を一直線に東陽に 一大馬路を一直線に東陽に 一大馬路を一直線に東陽に 一大馬路を一直線に東陽に 一大馬路に 一大馬路に 一大海路を一路北走 一条でこれを三人で 一条でこれを三人で

けた標をかけ砂袋を自分の自興車に積みかへ出致 すること たる場合は自チームの補 たをで代離走を譲けることを得 は積あることを得 は積かることを得して載走を りて載走を りて載走を りて載走を

合市公

店體

同聯

組務

合局

【香港廿七日發展通】 蔣政権はわが占領地區における金融 財地、特に上海及び廣東省の 斯政権金融組員を維持せんが ため種々の工作を行ってゐる ため種々の工作を行ってゐる が、確報によれば、三月開催 が、確報によれば、三月開催

出するれる。

年に至って店 年に至って店 たといはれる に見州一日

技

術

優 秀

9

店

崎松

25五二三六

目

C

價

す

上

海銀行取締役會

長

商

定

(日曜火)

H

切 三月十日午後 三月八日

一軍位内に於

トの補助を許さい場を禁ず

決勝點に於て檢

四十込締切三月八日 本川設、大同大街を南走 を川設、大同大街を南走 を川設、大同大街を南走 を川設、大同大街を南走 を川設、大同大街を南走 を川設、大同大街を南走 を川設、大同大街を南走 を川設、大同大街を南走 を川設、大同大街を南走

8、使用自轉車は普通の 用車(前ギャ四四、後ギャー八、六时車)を用ひ を高日出設監前に於て準備し設 走當日出設監前に於て進備し設 走諸日出設監前に於て進備し設 大走者に解と砂袋を引機 が、次走者は引機隊に於て 変、次走者は引機隊に於て 変、次走者は引機隊を引機 が、次時車)を用ひ

者(由

で、新京幡科大學官制中改正 で、新京幡科大學官制中改正 で、新京幡科大學官制中改正 で、1、國務院各部官制中改正 で、1、國務院各部官制中改正 で、1、國務院各部官制中改正 が重要物資の調整、米穀管理 重要物資場を設置し働等の 本年度より新規事業として 本年度より新規事業として 本年度より新規事業として 本年度よりが現事業として 本年度よりが現事業として 本年度よりが現事業として 本年度よりが現事業として 本年度よりが現事業として 本年度ないた。

電電新聞話鐘五日間稱大東浦

で妨害になるとで妨害になるととを禁ずることを禁ずをしたを禁ぎを

**師道高等學校官制中** 

東弗回收期

決定

本年は政治情勢があまりにもところが自ら概括論に限らるところが自ら概括論に限らるところが自ら概括論に限られても誘君が失望される事はなからうと思ふ、バランスシ

院

▲哈爾濱 二九、三〇、五月二〇、 一三、一四 一三、一四

五月二二、

蒙最初

鐵道

車開通をみる

三八年には八ペンニハ分の七 前貨は為替割當制の實施と、 近貨は為替割當制の實施と、

情ろう徒 勢は、本部 に國余難制

に留意されて調停の機を関策の顔に當る人がこの歌ののに當る人がこの歌しくなるばかりであられなけるとこれば和解の途は

ウラ

デ間

厚和廿七日發國通)ソ聯のとして一昨年起工し、そのとして一昨年起工し、そのりに進歩して昨年末に至りりに進歩して昨年末に至りりに進歩して昨年末に至りりに進歩して昨年末に至りりに進歩して中年末に至りりに進歩して中年末に至り

成既に御りて「聴取

対明せず集金上国の新菜等を表析 

る情にが憎

入季

を言ふ最低價に落込んだが、 を言ふ最低價に落込んだが、 を所別のでは、 をいい、日本は空間を表面的には打撃を では、 をいいのは遺憾とせずるを、 をが、会にして、 をが、会に、 と言ふ最低價に落込んだが、 を所別のでは、 をいいのは遺憾とせずるとでは、 をいいのは遺憾とせずるとでは、 をでは、 をでいい。 とでは、 をでい、。 のでは、 のでは、 とでは、 をでいる。 のでは、 ので

大日本航空輸送 成せらるなる 

加盟手 續終る (東京國通) 來る四月一日から一億國に增資し組織を擴大して國際空路へ飛躍する大日 加盟の手續をとつた、同社加盟は來る九月ニューョータで定だが、エール、フランスの紹介で國際航空輸 に起案される豫定に起案される豫で正式に承認される後の と期待されてゐる

科 人 婦 科線X児内 科病性外 

官制中改正の

**—** 80

## 捷景氣を反 競馬熱を煽る

000

ホケッ

"

1=

滿競馬 w

第二次六月八、九、一〇、一七、一二、一三、一五、二〇、二一七、一八、二〇、二一七、一八、二〇、二一七、一八、二一、一二、一三、一四、二七、一八、二一、二二、二三、二四、二七、二八、二一、二二、二三、二十四、二七、二八、二二、二二、二三、二十四、二七、二八、三〇、十月一 第三次九月二三、七、八 九、三〇、五月一八、三〇、五月一 十二四、二 九二

大房才原頭には淺春の和かな大扇を包んで春戴馬の橋へ、早くも若詢の調数に鞭を鳴らして戦捷景氣の競馬を煽つてある。その春の先曜を飛らって康徳六年度全調競馬の場へ、これによると新京養馬は四月二十八日をトラブに十月八日をもつて幕となる譯だがファンにはもう一攫十金の夢に迫るも

五、二七、二八、六月三、四 第三次六月一〇、一一、一 七、一八、二一、二四、二 七、一八、二一、二四、二 一九、二〇 八月五、六。一二、一四、二 一九、二〇 一九、二〇 十月二、天、二七、九 月二、天八月二六、二七、九 年二、三、九、一〇、一七、九 七、三〇、十月二、七、九 八二九、

判型·新発表

要 .6 1.00 1.60 社会式様水香館会 元賽数シリトーヤへ原作

整髪料の

しも嵩らな

特定科 長並に 産主任 者 會議 産主任 者 會議 産主任 含議は 十七日午前十時 より産業部會議室に於て開催 各省特産主任者並に産業部及 馬政局その他各關係者出席、 畜政並に特産等に關し協議を きひ、十八日は各省提出の議 変に就き種々研究審議を行ふ

率土豆大蒜新罐蒸東丘 元 华口

(S) | TH

内頂チ

四る の新増及び班の編成等 の新増及び班の編成等

Z.1189

酒の害を防ぐ

・)。 、 大員家にとても好館です。 さす、下桐をせず、またアル中、高さす、下桐をせず、またアル中、高さす、下桐をせず、またアル中、高 でして大便中に観測するのが特長でいたりか、胃肺内の種々の有寒他を吸いりかりか、胃肺内の種々の有寒他を吸い

を延長するの已むなきにの他の打撃により不可能のであるがわが廣東占領のであるがわが廣東占領のであるがわが廣東占領 5日本田

手形交換:農(河田)

**會社組合設立手續** 法律顧問及鑑定 特許商標出願審判 於軍大臣指定軍法會顯辯雖十日 被 法 曹 協 會 建 東東 調 院 調 島 們京事務所 新特法 x 許律 入番地ミヤ ml 



りまけた人風 ん近レ氣に

蘇照與

堅 對 絕 證式株 資 投 券 0

發賣元 縣田 邊五 吳 衛 商店 東 遺元 順天堂際 化學研究所 単に粉末、液物

リー がして来る。 がして来る。 がして来る。 がして来る。 がして来る。 がして来る。

連載漫画オーアンボンロチャー

長崎拔天

(東京) 青年の時間 (東京) 青年の時間 (東京) ラギオ時局 (下) サエン作曲 (下)

(東京)を

一・明日ニス軍 一・明日ニス軍 一・明日ニス軍 での選挙

×紳士 方にも好 模を傷めず、使心地対極別、頻繁流ひに

A--5

X

と わが日本の探偵小説家で多く わが日本の探偵小説家で多く 神不木氏をはじめとし、甲賀三郎氏、木々高太郎氏、それから海野十三氏等を奉げることができる。このうち小酒井不木氏は、醫學者であつて「農愛幽線」などのすぐれた作

醫學的 分野における作

1

日心

於

け

3

氏は應用化學科出身の工學士であるが恐らく氏ほど科學的 た短編探偵小説を書いてある 人は、他にるないであらうと 思ふ、中でもその初期の作であることを利用した一事件 を書き、その他「琥珀のパイプ」とか「血夜型殺人事件」

である、しかも氏は生理學の 先生である、生理學と云ふ學 のに、氏は のに、氏は

人命と 結びつく裸似小型版を書くのに最もふさはしい「外でしてゐるといつてよろしい「無限した」「死因」「人生の阿呆」其他いろくな作品があるが、氏の作品の作品の作品があるが、氏の作品の作品の作品があるが、氏の作品の作品の作品の作品があるが、氏の作品の作品の作品があるが、氏の作品の作品の作品があるが、氏の作品の作品の作品の作品の作品の作品の作品の作品の作品の作品を表している。

身でありながら、早

早大電氣科

ないのは、

學 者 3

探

偵

小

說

料を用ひたものが多い、木々とか、題名を讀んただけでも

なく急死したものを調べ ると、多くはからいふ留 それに伴つて起るといふ

ふ氣象の

疲れ易

くない人があるな體格を持ち少しも気分の悪

因は流感、肺炎などである、一定数の三分の一で高血壓の場

一般に低血脈の人は

消化障碍を起す

の飲過ぎが悪

切傷のいたみ、偏頭痛、それから血壓なども気酸の變化するときに影響を受けるものとされてるます、実性婦人では出産が氣壓の變化する時に澤助かます、實際に築壓の流れとさらいふものとを比較研れとさらいふものとを比較研れとさらいふものとをという。

冬帽子はまだ當分は使ふのですから手間をかけて若返ら ですから手間をかけて若返ら ての方が必要でせう

では綿が着きますからガーセーでは綿が着きます、次に相睦ですが、最 初に脂汚れを落すのに配脂棉

布にキハツ油糠をしめし一た髪の觸れる部分の油を丁寧に髪の觸れる部分の油を丁寧に

通りにかけ

等の形で思ひの儘にとこのを元へ、又好みに應じてツ

油で除れな

を不り れで認められて

汚れた中折帽

手輕な若返り法

本地に特有な疾風の起つたとき、かとへば或る人は非常に を、たとへば或る人は非常に を、たとへば或る人は非常に

(日曜火)

く、また事論を好み動作も荒 響、臭氣などに鋭敏となり易 また 或る人は 感覚や 光や音

強く、殊に過勞や興奮でも低 高血壓の人には血壓の動揺が をのまゝ保つ場合が多いのに

内はれる、血脈の動

ものは低血壓の人には生涯を囚はれる、血壓の動擒といふ壓が高くなるのを望む感じに壓が高くなるのを望む感じに

偏頭痛等を訴へ易く振、呼吸困難、便い

障碍、めまひ、動網が尖り、頭痛、

血壓患者の血壓は動かない、 だうして低血壓が超るだらう だつ擧げられるのは酸質の異常であり、健眠剤や煙草の遠 のよび響けられるのは酸質の異

東 の人は からいふ體質的の低血壓をあ りも離かしい。一般に低血壓をあ するよ

學が各國で研究され

その関係が興間的にやう とですが、最近氣樂階 ととですが、最近氣樂階

## 庭



密接な關係がある 氣壓 ピ 病氣 共に額が道上せてほてつて 塞い時には足の方が冷えると

宇宙線も影響する

また集中力が弱くなつて房限 になり、交通事故が増加し自り就職試験でも受けようもの りが出、無暗に体みたくなつり就職試験でも受けようもの りが出、無暗に体みたくなつ

無ポイオン、宇宙線その他いろ 、最近問題とされてゐる空 、最近問題とされてゐる空 といは れてゐます

日頃の注意で防 かよくあります。 カサ 3 すると大一つと叮嚀にするならば

唇が

るといつた

や酸の平が

7が或る場合はホルモン川するものと考へられて神経系、ことに運動神経

荒

當座の手當として蜂蜜なりりといことではありません。寧

・ 後にコールドクリームを一旦 ことです、それよりも不断に ことです、それよりも不断に を変貌にない自然の清々しさ

識ず

行紅を強り つませ

煙草をやめ甕を用るたければ 甲狀腺製剤が向く 要する に心臓に故障のある人は注 ないが常に自重が必要で、 でいが常に自重が必要で、

を記へ、又好みに應じてツバ で拭き、乾いた後で換ブラ かで叩き出しては毛並みに沿 つて叩くのを繰返し綺麗にな りましたら、鐵瓶の湯氣に一 りましたら、鐵瓶の湯氣に一 **続されるやうになるもの** りの治療激防といふもの が、その方 なに明かにされ、その方 なに明かにされ、その方 什八日(火曜日) 小新京 放金局 上

ふ の番組

■ 大連)中等溝洲語 は 大連)中等溝洲語 は 大連)中等溝洲語

八、国〇(大連)朝の音楽 (大連) 経済市況 ニユース 一鮮語」 ツス 一鮮語」

洋子

(哈爾濱) 初等ロシ

六、二五 六、二0 00

社會式林鹼石含進共 歐大

九、〇〇 (東京) 経済市況 九、〇〇 (東京) 経済市況 一〇、〇〇 家庭講座 家庭報園の實験 家庭報園の實験

七、三事項

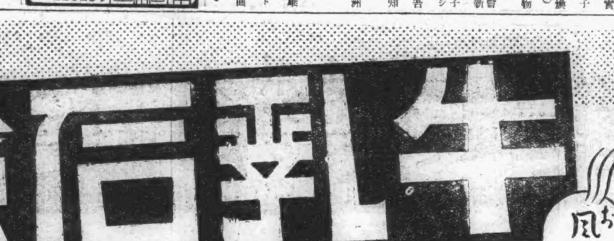
○、三五 料理献立 「東京) 「東京 「東京

ŕ

● - - - ○○○

學と醫學らしいものとが相當 のあがることに、やゝ鈍感で おあげることに、やゝ鈍感で 科學的な操偵小説には、物理 は、物理 のでは、では、物理 のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、 のとが相當



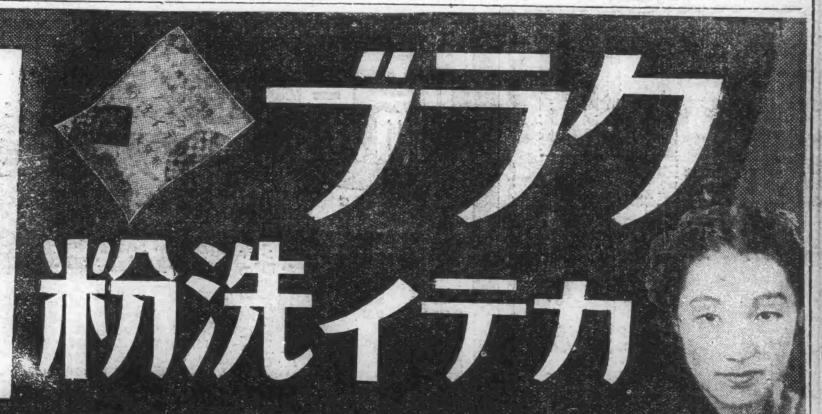


を鹼石い良はに浴入

いつも活き/~と 牛乳石輪をお用ひ になれば、お肌は が開び高級な 果的です を の 肌 売れ がには、 \* 一番簡



なり毛髪の姿質を素晴らなり毛髪の姿質を素晴らなり毛髪の姿質を素晴ら ぐはしい血色です。 收され菜養となるの がいた。ですからクラフカ た粉をお用ひの方な に割ります。輝くや 髪が赤らむ遺憾 をかまれるなどは をあるなど 東である美養素 \*である美養素 があります。と







品質優秀







するめられるまとで さらにのんだ。夏枝の母は面白さらに支那風景の宮崎を見 ながら渡へた頬を輪のやうに ながら渡へた頬を輪のやうに を新聞を繭んでるる様子があ と新聞を繭んでるる様子があ と新聞をあんだ。夏

福正の満人情は度と維沓だと 他か二。三日を解放されて特 を測步する準公人達よ、正に その遺は君達の路だ。どろに まみれた馬車は身に飾りをま とひ此の街に情緒を深へる。 とひ此の街に情緒を深へる。

を待つて居るのか、いや多忙で走り廻って居るのか、いや多忙になれ出る。昨日を忘れ明日をだ 流れ出る。昨日を忘れ明日をだ 流れ出る。昨日を忘れ明日をだ たれ出る。昨日を忘れ明日を は 想はぬ軽い憧線。いや狂女はは ないものを享集する後 に 雲は太陽を湿くはなれた。 智慎を まこけた老人が西瓜の種をむしま こけた老人が西瓜の種をむしま こけた老人が西瓜の種をむしま こけた老人が西瓜の種をむしま こりながら私の前を行く。田舎と あらうか。例十年この方このと あらうか。例十年この方このと あらうか。例十年この方このと あらうか。例十年この方このと あらうか。例十年この方との世界を

多忙 ふと人ごみに消えまつた。落 はしいと思ふ。日本人は大國 のよびりと亦中島人もあの可 の思 菓子を 新張る紅を附けた小鎮 のんびりと亦中島人もあの可 の思 東子を 新張る紅さで知れる。見す で 善良らしい老人が買手のないの 郷の母を偲ばせる姿だ。紅に はらしい老人が買手のないの 郷の母を偲ばせる姿だ。紅に はらしい老人が買手のないの 郷の母を偲ばせる姿だ。紅に はらしい老人が買手のないの 郷の母を偲ばせる姿だ。紅に はらしい老人が買手のないの 郷を築めた二人の女。見を見 優を もつと心を入れてひいて臭れ を見守つて居るのだ。母上よ がら から して居る。 関はまだ高い 行つた。山路などで、母上の草の からとして居る。 関はまだ高い 行つた。山路などで、母上の草の からとして居る。 関はまだ高い 行つた。山路などで、母上の草の からとして居る。 人の彼を泳いで行 しんなに悲しく想つた事だらう をで りとして居る。 関はまだ高い 行った。山路などで、母上の草の からとして居る。 関はまだ高い 行った。山路などで、母上の草の からとして居る。 人の彼を泳いで行 しんなに悲しく想つた事だらう をでも から からに居る。人の彼を泳いで行 しゃんなに悲しく想つた事だらう をで からしている からに悲しく思れて居が涙が適出る にと

は し歩む。しばし目前に二人遊 あららか。昔の女の事を想ふ がし私に して居るのが。今は何處で暮 して居るのが。今は何處で暮 して居るのか。陽光が西天に 後等の打ち鳴らす笛太皷の音 がかすかに響いて素る。 特はづれに出た 信 ある。そこなら好いであらう 自福の下から馬車に乗り震正 居る。そこなら好いであらう であんでは太陽はまださんたる光にある。

成構此るな巧精

(意注例りあ物せに)

り誇の社我ぞ

程訊廳會商輪明

富豊庫在品分部其と車ムゴ

元責發車ムゴスエービ

军

得ちげな寫眞屋のウインド。

Mg.

た。は、てるる夏

谷正

り廻って居るのか。すって居るのか。す

景の寫眞持つて來ましたよ」 「おばさんお約束の支那風

「挨拶なんか抜きでいるので

本学な家庭関係の中に育つて、すつかりひねくれた性 無に育つてしまつた人間、それがこの作でよどみなく満 響に育つてしまつた人間、それがこの作でよどみなく満 をころを作者はよく押へて、正確な觀察の眼、表現の腕 でこの作品をつくり上げてゐる。最後に主人公が酒に逃 でこの作品をつくり上げてゐる。最後に主人公が酒に逃 でこの作品をつくり上げてゐる。最後に主人公が酒に逃 だと思はれた。これは瑕蓮と言ふべきであらう。舞台も だと思はれた。これは瑕蓮と言ふべきであらう。舞台も だと思はれた。これは艰蓮と言ふべきであらう。舞台も でのタイプもはつきりと書きわけられてゐる。 作者はこの作でその文學修業の成果をよく示し得たと 言ふべく、近來の好感を以て讀める作品の一つに數へら れる。

それは冷たい言葉だつた。
素男はがんと頭を何にかでぶたれたやうに心痛かつた。
としみざへも悪いてくるのをど
うすることも出来なかつた。
いつそこのまゝ歸つてしまは
いつそこのまゝ歸つてしまは
らかと思つたが優しいおばさ
んに變に思はれたらと思ふと

た。「習俗記」と

いふ題名は些か襲り過ぎてゐると思はれ

がまかり

(『モダン演別』]月號)-住々木勝造「習俗記」

佳作

日

「近頃よく嘉男さん遊びに

それから一時間も經つたのか、早や静かな部屋に往時計が九時を打つのが開えた。 男は頭を上げながら 「知らぬ間にこんな時間に なつちゃつた」

九時を打つのが聞えた。暮れ時を打つのが聞えた。暮れから一時間も軽つたの

るる時が樂しいやらな

故郷よ、

戰 支

那

0

記

お前を懐

「夏枝は絵り喜んでゐない、 夏枝は絵り喜んでゐない、 遊々玄闌へ出てみた。 「珍らしいのね、夏枝さん がをるなんて、上つてもいゝ

それから三十分も買へると 云へば引留められやつと家を 出たのは九時半を幾分廻つて あた。外にはあちらこちらに 散歩客の浴衣の入れ交り往来

「お前に

だつた。

ない

「どうしたの、脈に元氣が

私は窓を開ける

湾らかな日をあびるのが恥しくなり、 さの手に 凝味悪い静脈の 色の鮮やかさましく手を膝に 適かな 夢を育てるためへ

窓を閉める。

正義は氣づかひながらたづ

悲しみが相手に知ら

た、臺男も浮かぬ顔をしながた、臺男も浮かぬ顔をしなが

は、深い息を楽しんでゐる。 いな風 日が射すと、 いな風 日が射すと、

2/

9

い際が夏枝の部屋から洩れ で一緒に来てくれない」 情報は優しく 「君枝さんお茶でもおし んお茶でもお上

「嘉男さんすみませんは、 珍らしく家にをつたと思へば お友達が誘ひに來るし」 窓男は悲しかつた、もし夏 核に好意があるならば又僕の 來たのを幾分喜んでゐてくれ たち今のやうた時でも一寸空 たっるとことわることは容易

が出来なくつつ 「學校に別」 「學校に別」

の好意に甘えること

返りながら默つて入つて行つるた。二人は嘉男を一寸振りとある喫茶店からゆるやか

ん有難う、一寸夏 選男は何にかかばつてやり 並べ黙つて二人について行っ た。二人は話合つてるたが嘉 別は今晩の夏枝の態度を思ひ 浮べ悲しかつた れなかつと

は「今晩は」簡単に挨拶したれ、夏枝が近頃外出が多くなったと云つて母親がこぼして

うに强い 〈ショックを身に 前後の青年も一緒だつた。嘉 前後の青年も一緒だつた。嘉 世分もたつたらう、連立つて 実示店を出た。丁鹿出口を出 た時だつた、入れ爨るやうに 大つてゆく三人連に何心なく 振返つた、思はず眼をつむつ 1をのんでるた。 だいららかにもら一度自分を がつたりと机に打伏せてしま でつたりと机に打伏せてしま でつたりと机に打伏せてしま

いてゐた。「相手は僕を知つ 落着かなかにか面白さうに語りながら少 らの新たならと何 離れようと 解れようとも たつた。悲しさで眼は、ないからぢやないの」いれんではどう、何處か、は

放郷を思 ひ懐しむこゝ ろである、からした思ひは寡鯖がその死んだ夫に對してのそれ 乳呑見がその別れた乳母に對するそれ、それから情熱的な するそれを以てしてもその一 高分の一にも擬へられぬであらう。だが私は斯うした欒石 とりも一層苦い滋味を味はひ こことに要った極刑を受けてもうことに要った極刑を受けてもうことに要った極刑を受けてもうことに要った極刑を受けてもうことにある。 た。さうして小舟は一の前に展開してゐるの

17

生

直受

年を軽たのである。

書日 架

原

電量用電大橋本町三丁曹 間機 製作所 に口 電機 製作所

● を表示する。 ● 一色リポン自動切響 を要素すり作動ス ・一色リポン自動切響 を要素すり作動ス ・一色リポン自動切響

江に泛べ朝霧が江岸に沿ふた 地頂をとざし炊烟は一帶の着 老たる柏木をめぐつてゐるを 老たる柏木をめぐつてゐるを 見遠寺の鐘署、つよいて二三 別の最鶏が鴫に唱ひ、村の犬 が吼えるのを聽いた、そして が吼えるのを聽いた、そして は微かに秋林黛麗の上にそゝ いでゐた晴朗な一日が隠約た る蛤唄の中に展開されたので る蛤唄の中に展開されたので る蛤唄の中に展開されたので る蛤虫の中に展開されたので る蛤虫の中に展開されたので るいでるた晴朗な一日が隠約た ここであた晴朗な一日が隠約た ここであた晴朗な一日が隠約た ここであた晴朗な一日が隠約た ここであた晴郎な一日が隠約た ここであた晴郎な一日が隠約た ここであた晴郎な一日が隠れたので ここであた晴郎な一日が隠れたので ここであた晴郎な一日が隠れたので これ時は二百里日

ながゆつくりと、或ひはあはたなしく踏み過ぎた足跡があって見え際れずる山峰が白雲 であった、沙鷗が麗季を掠め、茂空み、沙鷗が麗季を掠め、茂空み、沙鷗が麗季を掠め、茂空み、沙鷗が麗季を掠め、茂空の大柏樹の中に飛び込んだりまたバタバタと江の面に飛びかへつて小魚のやうなものを表にまかれてゐる地いつばいの金の光は残陽最後の情影であった、一片の風帆を異様であった、一片の風帆を異様であった、一片の風帆を異様であった。

東 4 等 寶、上 響 大進、斯京、地震的

**有** 例 书文 聽代進店 本

昌岛

和

章

强

觀

12

L

T 輕 快

なる

事

やらに私を刺すのは、行塊のやらに私を膨し

私は骨つてぼんやりと舟を横 が帆のまはりをくる (飛 がのであた、挑み、追ひ、金色 の光の潮の中を升降してゐた

印印 御注音

堂海大崎岩 子菓ンメセ



近藤ミシン 也四四百十四四百十四四百十四百十四日

(シンガー第六八條関係問題) 止 各種 特権工業用ミシン各種額 ・シンガート共通スル一般

S.M.Y. 81種









金貳拾円

ス

京市日本橋區本町四丁

2

が治せ 3

、強の性透滲膚炭で用作の)モルボ

シワタルミ… 際防はもちろんし 般皮膚障害の

つでこんなに選ふ



れす大賞を房皮のケヤ塚・レア肌 ブラク・すまるてつなになんこは 以ぐすでンモルホ町ムーリク身美 すまきでに肌な厳健たしまもに肯

20

リコネに孔気とる親を富手の病皮 臍皮りまたにうやのこがラブアや ラクぐす。すまりなと四原の領除 なをデーサツマでムーリク身美プ cいさたくてつる

のもたし大猫を肩放な原機はれこ 使おをムーリク身賃プラクっすで なにうやのこもで方様はれなにひ ●すまりなに病族いし美なからめ

ホルモン マッサーチ法

際皮膚の健康法を根本的に改善して皮膚の健康を一層増進して下ひで直ぐにも肌アレをするここになるではなりませんか!この

銃後女性は 健康化粧



ひきしめます。 たるみを訪ざお書 たるみを訪ざお書

大お化粧おとしはい





ラブ美身クリームは獨特の殺闘繁理作用を兼ねてゐます。 肌アド すぐホルモンが皮膚の内部に豊かな繁養ごなるのです。その上々

は更に更に後透力が強くなつたのです。ですからお使ひになれば

實験表をご覧になれば判るやうにクラブ美身クリー

ムのホルモン

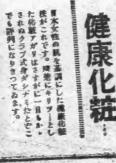
を防ぐのはもちろんのこことど、シモヤケなごにかいるうれひが

なくなります。すぐお使ひ下さい。

くては冬が越せないこまで……愛用してゐらつしやいます。左の アレ、シワ、タルミ其他ヒビ、シモヤケの常習の方々はこれがな

クラフ美男クリームをお使ひになつてゐらつしやいますか?







健司、市公署兩防疫科と連絡をとり吉林省保健科に現地調査を体類、天然痘國都侵入防止の萬全を期してゐる、熒生山の萬全を期してゐる、熒生周許落で惟君の實家は十九人房部落で惟君の實家は十九人が次

建國週間行事中市民慶配の夕 第一會場(協和會能)と日人を 第一會場(協和會能)と日人を 對象とせる第二會場(西慶場) が、協和會第四幹事會主催の が、協和會第四幹事會主催の

数ありサービスに遺憾の監が は三月一日より薄人郵便配達 人に對し日本語の講習を開始 することになつた、なほ現在 中央局の郵便配達人は三百二十 十餘名、らち日本人百二十名

は各種の観路より再検討が行の週ブロック内輸出個限問題

を持たれてるるものである
を持たれてるるものである。

今度は

天然痘

新手、國都を窺ふ

建國の英靈默禱

各戸に離兩國旗揚揚

解し得ない者である

圓ブロック貿易の

緩和を要望

編へつけを殿命した ったではこれを認めなどの楽がしている。 の種となると言ふのでと勢よく飛び込んだが目算がはづれて をもめので當時を以て現在のかまりにつれてもと言ふのである。例へ にを使かれることは經營とは、結論問題であると言ふので当時では現在ので当時を以て現在を をもめて当時を以て現在を がは一ついて考慮してある。例へ に発でしていて考慮してある。例へ に発でしていて考慮してある。例へ に発でしていて考慮してある。例へ に発でしていて考慮してある。例へ に発でしていて考慮しての許可にな のであるが、當局は目下の状態

創立

三昨名年

0)

卒業者數四

生部大臣 昭大 和和八年

新京特別市大都路

対入申込のこと学則及願書用紙は

ン行馬合圖に

されが影響を では日本商工の では日本商工の

者を招き隔意なき で編別機における を調査するため廿 を調査するため廿

結果備へつけておくべき建前となつてゐるメニューを各店とも幅へつけを怠り、のみならず店によつて同一料理で値なる一つとも見られ、無岩順、なる一つとも見られ、無岩順のなる一つとも見られ、無岩順のである一つとも見られ、無岩順のである。

0

志望學科

建築科

第二學年

第一學年

號快全息肺

本道卓球戦とも 新京代表遣有段者團體 第十五回全補柔道有段者團體 第十五回全補柔道有段者團體 第十五回全補柔道有段者團體

願修 書 統 年

切限

第三

學學學年年年

口作文、集術、集術、

口頭

紙は満洲切手二銭或は二銭切手引換券月二日午前十時(日曜日)三月二十一日 試験日四一三月二十一日 試験日四

年七十第 號 月 三

亡鬼名に

(自曜火)

殿下御祀電院參謀總長

匪影なき沿線

入場無料、一般市民多数の來 特を希望してゐる、尚當日は 特を希望してゐる、尚當日は 場を希望してゐる、尚當日は 場を希望してゐる、尚當日は

が

客の文句の出場所

會職に

特別委員

りなる。 対象の を打つてはな を打つてはな を打つてはな を打つてはな

変 礼動務改正 月一日より午前九時から午後 月一日より午前九時から午後

後三

業カフエー

備付け豊

先づ

北支鐵道愛護村

一行入京

如き駆脱電を植田軍司令官宛式加盟に對し廿七日大要左の式加盟に對し廿七日大要左の間院秦謀總長宮殿下におかせ

西 れたが、配達人の中には未だ一樂の宴に超減員ホタ (の紙 次月 一般郵政事務は著しく改善さ こを吹くかと文字通り夜毎歌 面 都変移護後一ヶ年餘を經過し ある二月の月も不景氣風よど あ 番客足の少い受難月とされて 備 番客足の少い受難月とされて 備 番客足の少い受難月とされて 備 番客足の少い受難月とされて 備

態にあるが、更に櫻花季節を し冬店こゝを先途の秘策に準 備怠りない商陣を展開しつ」 ある、然しからした野児の反 のに収翻上の問題についても

然に最近客と女給との間に於 てク料理が高いペク姿の知ら ないことよ々と折角の歌樂も なり謎には口ぎたない紛争ま

神洲國體育聯盟では二十七日 理事會を開きかねてより懸案 であつた特別委員會設置に開 権の撤設及び補繳附屬地行政 權の都讓に伴ふ運動競技者の 記念品赠呈の件を協議左の通 が規に関する協定の功勞者に

がさる日の平

知く語った。 ・ 職項法輪愛護村長は左の 三月

青少年團結

實現

百

総合思想Wのトーチカとし、 策映書の大綱は左の如く、平 策映書の大綱は左の如く、平

と女中君を連れ たかも上映賞屋 たかも上映賞屋 たかも上映賞屋 たかも上映賞屋 たかも上映賞屋 たると人一倍四 なると人一倍四 なると人一倍四

中君を連れて支那料理でも上映寫眞は問題の名響を上映寫眞は問題の名響を上映寫眞は問題の名響を上映寫眞は問題の名響を上映寫眞は問題の名響を上映寫眞は問題の名響を入る。と出て行った。本年七十七と人一倍母親思ひの同氏を出て行った。本年七十七と人一倍母親思ひの同氏をかどなり、思い世紀を強力を強力をある本年七十七と人一倍母親思ひのだちのと出て行った。本年七十七と人一倍母親思ひのだちをから誤が通りといったかどない。

Ŧ

日に課了、 ところその酬ひテキメン ところその酬ひテキメン と女中君を連れて支那料理で と女中君を連れて支那料理で

=

3

V

# 立てを喰ふ

國都新京の家賃は東京に比べ で三倍以上の高値だが、この 高家賃の住宅さへもなか ( の主き手がないといふ有様で國 都人口の増加率に比例しない なで何とか家賃値下げに乗出 さないものか」日く「房産な どは食社に有利な代別官舎ば かり造つてゐずに一つ民間別 の住宅も建て」はどらか」と

日間に悲鳴怨嗟の靡が高い! その折柄六十戸からのサラリ その折柄六十戸からのサラリ ・マン諸君が二月の寒空の下 で追ひ立てを食つてゐるとい ふ住宅悲劇がある その一つは天独特の天寰ホ を学けて悲鳴を舉げてる。 で譲っ受けたもの、このほ で譲っ受けたもの、このほ か新媛路興和ビルニ、三階 の住人廿四戸は附近の某ホ

事あ

す建國記

念

H

間始る温温

かねて

行く家がない

具今到着したばかりで何んとも申し上げられませんがこの一行は途中鐵道滑線にこって親宗した、王道学士を負のあたり見せ、 選士を負のあたり見せ、 選士を負のあたり見せ、 選出を追回に亘つて親察した いと思ひます【寫眞は驛頭 の一行】

祝濯屋盗難二件 市内富士町三ノ六県屋洗布所の外交員赤田一馬沿は二十六 日午後二時ごろお得意先から 預つた洗濯もの(洋服、お召

市内吉野町二丁目十三番地科市内吉野町二丁目十三番地科は先頃賞弟佐野近次氏を亡ひ二十七日その忌明に際し、香飲かへし等を行ふ筈のところしと同日金百圓を本社へ寄託しと同日金百圓を本社へ寄託 から寄託 料亭南海主人 金

恐怖を楽してゐる問題を楽してゐる問題は出たが、預つれも二十七日 は対しま文を取ったのの洗濯屋のれならぬ洗濯屋のれならぬ洗濯屋のれならぬ洗濯屋のれる

屋の外交員達は大りな品ができなってがかねばない。預つた大切な品がなる。

に乗せて説町三 でかけ五分間ば まられた

世七日午前三時頃南嶺同仁 ・計六日午後七時から十一 ・計六日午後七時から十一 ・計六日午後七時から十一 ・計六日午後七時から十一 ・計六日午後七時から十一 ・計二日午前三時頃南嶺同仁 で現るでは、 で現るの間で、 で現るの間で、 ででは、 でで

新築五階建一

理想的近代設備

日午後七時十分頃梅ヶ枝町一 場より設火、同三十分鎮火し たが、原因は煙草の火の不始 家に燃え移つたものらしく損 歌に燃え移つたものらしく損 梅ケ枝町ボヤ

開店

三月一日

構場市町衣羽連大 借五九八一③表代話電

用勵

標

弦

口印

に懸賞募集

るこ

本級社員會提供 高級新京支社では社員の管位 向上及び社員會管操の普及撤 底をはかるため三月一日より 一ヶ月間支社全員参加玄陽前 度場で社員會管操を實施する ことになつた 



なされた 本された なされた なされた なされた

をは戸外へー春暖の訪れと共 した中蔵の長い蟄居生活から解 はからつぼとなつて行くので はからつぼとなつて行くので あるが、泥棒もこの機會とば かり跳弾するのである、春の ませるのである。春の ませるのである。春の はならのである。春の 

の戸 縮忘れ

何署へ届けられた 大禁物である、二 大禁物である、二

郷一○八號居住、店員王鴻 (三八)は熟睡中窓硝子 貴(三八)は熟睡中窓硝子 貴(三八)は熟睡中窓硝子 貴を破験送入した殿に現金五 十順、獺付のオーバー(時 價工百圓)その他計三百圓 除を窃収さる 会署土木科師人張延俊(三 五)は廿七日午前九時頃か 5十二時までの間不在中去

廣告 ■話(☆)三三00 金村

-

一人用品使用獎 一

右第第る代目

第一部「代用品使用獎勵」の各標語第二部「廢品 再 生 利 用」の各標語第二部「廢品 再 生 利 用」の各標語第二部。第二部。各重名 武治順宛 第二部。各重名 武治順宛 東德六年三月十二日限りとし、褒英は三月中旬とす。第一部。第二部。各重名 武治順宛 門れる如上の趣旨を直戦部「殷品一再生和」「殷品一再生和」は用いたの問語を募集す。

(一) 官製「ハガキ」に標語を記入し住所、氏名を明記すること (二) 右標語の上部へ第一部又は第二部と塵葉の新京大同大街康總會館内 社 圏 本町 (1) 送先は左記協會宛とすること 新京大同大街康總會館内

時局下 國策線に沿ふ T

品完 中古夕 を新品 9 1

御用命を呼じる一回 原生がます の販賣を開始 しましたどし



新京特別市羽 自 動 9 本事

7 賣買

チタ中業 リヤタ務ブレイ務 修再十種 並チ目

理

低等ドー四度 の風精

に協力

本年度協和電子作に

縣) 數河省 (五縣) 數河省 (五縣) 數河省 (七縣) 制省 (八鄉) 龍 (八鄉) 龍 (十二縣) 黑河省 (一縣) 三 (十二縣) 黑河省 (一縣) 三 (十二縣) 黑河省 (一縣) 三 (十二縣) 黑河省 (一縣) 三 (十二縣) 黑河省 (二縣) 黑河省 (二縣) 上 (大鄉) 龍 (大鄉) 東文省 (大縣) 世 (大鄉) 龍 (大鄉) 東京 (大郷) 東京 (大鄉) 東京 (大鄉) 東京 (大鄉) 東京 (大鄉) 東京 (大鄉) 東京 (大鄉) 東京 (大藤) 東京 (大

協和會本年度最高工作方針を 各省に指示機底せしめる省本 調要の関策的配給網の組織、 助手協和會とタイアップして 協調音少年期の結成、別項の 協議全般的質疑のAも年後五 でを全部終了、全事務長は七 でを全部終了、全事務長は七

・ 央本部長招宴に臨んだ、青少年團の結成箇所は全部で九十 高で本年中に百萬人の青少年 画新成を實現せしめること ム なつた、決定せる重要問題は

よのでは、 なのが、 なのでは、 のでは、 なのでは、 のでは、 の が映画の大都は7 場合思想版のトーチカとし、 協和會とタイアップして全国 いふ減映としては従来みられ なかつたやうな積極的且つ企

館外へな眼か

工作方針指示

駅一揆の務践者なぞ、各地に借伏 だ、大阪方の残骸、あるひは、島

「揣者とて、何しに長七郎君を、

取つた酸次郎の密機を、

そとで伊豆守は、おお菜から受い

してゐたものだ。

ういふ配引になると、変左衙門

数に口を開いてるた。

ちょつと出酵を挫かれ

は、どうか、戦略お整へを励ひた 明さうと存じ困つた矢坂へ。 個老

前門のために、「いかからない恋左たら何を言ひ出すか分らない恋左

扱け目のない伊豆守。践つてる

種の藝術的調合で は世界の名香三十八 原料香水オリデナル

日日窯内

タイピスト等集 新京新設路【帝都キネマ前】 青沼タイプに合教授 日本タイプに合教授 日瀬タイピスト等 日瀬タイピスト等院 日瀬タイピスト等院

丁開洲堂で 電3五一三六番

膝。 栗、

(17)

でとざらぬ、質は、松平長七郎君 「天下の一大事と時すは、余の機 失ったは懸念なれど、長七都野に 二心なきととさへ明かとなれば、 の創世安楽を奏ふるの萬分一

とそばゆい。彦左師門は、何を皆 登城の途中での、あの出來事が た。 彦左衛門、泉気に取られて眼野野洋々、龍みなくやつて過け

味らせぬとは、

ひ出す

か、從つてそれる、能く分

「長七里を投がったは、金の間」 とする家光の戦中は、野はず 長七郎を呼び隠し、彼に、殿神 大納雪の測子としての標面を興へ **氣なくて、鬱川幕府の健康を、扱うビタしてゐる所は、あまり大人** と、柳生信馬守とから、との話を に溶け復るであらうか? んで解けない家光将軍の気持は。 けであった。長七郎に對して、標 線だのと騒ぎ立て、長七郎君にピ も限つたものだ。陽密だの、騒動 「相関らず京州版の、小刀組工に初から、伊豆守の行動に反對し こと、腹は立つが、〇でブリ だが、賢明な家光であった。 しとの伯文、然の間しみ の 1 日本の 2 好みに合づた匂ひ オリヂナル香水と を創る事も近代人 調合してあなたの のよき趣味です 京市日本商區水天宮前

帳簿專門

全野 湖 商 店

白米奇體

安東非

撫順、 米

新京室

東七郎野には、南非無観の徒と交。 ・ 小利益な単併が設生したその上。

on,不知何豆留水、德川

泰川製事性なぞ、鬼舟長七郎若に 失。引つづき能引ケ谷師概野終軍

にま上州高崎に於けるお蘭村の松

タイプ印書 膽寫· 化皆 清温社

『シく 御申込下さい 発力部 新京東三馬路 自疆會 大船町四丁目五 整正月 R3二九〇八堂

トラックに依る

宋松接骨院 はゆつざ 火通り

新京吉野町二丁目 お茶道具は 中小商工金融 東省實業株式會社

[[在所 新京特別市大同大街四〇六號

京拓ビル内(電2四九一七)



大部路 一八二 紫雲社

電話及金融 融即時・長期秘密 値なアタマ金で買入が出来ます

三友社

電話3 LI四二四 所京永榮町

(関州の方は) 荻本電話店 新京入州町一ノニノニ

印刷液帳薄

大和通四六ノニー五三

市光堂療院 東二條通交番前 東二條通交番前 ण ए ड

有京人沿可 電 四五〇一番 神央看離婦會

下目四韓3六八三七 所二八 公益級社 路二八 公益級社 の東四馬

今辨慶整骨院 電器 五二六二番

一八號3六〇四一番 丸八商店



t刀 親 0寒 0】

乳もみ専門 清水堂鍼灸院 △カリロイマ 3六七二七章 良多



カメラ修理 乾寫眞機店

サック 悪化し易く用 多し翻出は専門の當店に限る 富士町ニュー四 名物性の百貨店

お茶と





全満主要都市百貨店及藥店にて販賣す



験刺なる 能~べる 出足と快速 題ちん

士

0

製調殊特

店商 日 社會式株

酒級 潇 洲 新京櫻屋 商店

清髙



